

目次

プロローグ 五山でなにが起こったか 1

1 五山へのいざない 1

2 五山という場 21

第I部 東アジアをまたぐ禅宗世界

一 海域ネットワークのなかの五山 53

1 江南から博多へ、博多から京都・鎌倉へ 53

2 国境を越える勸進活動 57

3 東アジア海域の激動と外交僧の誕生 63

4 外交と禅僧の時代 70

二 日本の五山禅宗と中世仏教 78

1 五山制度の成立と五山の法 80

2 室町幕府と五山 88

3	五山禅林の生活と仏事法会	94
---	--------------	----

三	地方勢力の成長と五山	103
---	------------	-----

1	名僧の奪い合い	103
---	---------	-----

2	「寺」中心から「僧」中心の制度へ	108
---	------------------	-----

3	地方における五山文学の役割	114
---	---------------	-----

第Ⅱ部 受容と創造——日本伝統文化の源流

一	五山版から古活字版へ——出版と学問の飛躍	123
---	----------------------	-----

1	中世以前の漢学と出版	126
---	------------	-----

2	五山版の誕生	132
---	--------	-----

3	五山版の隆盛	136
---	--------	-----

4	中世の地方出版	142
---	---------	-----

5	五山版から古活字版へ	146
---	------------	-----

二	漢詩文を読むことと書くこと	150
---	---------------	-----

1	禅と学問のはざま	152
---	----------	-----

2	五山文学の歴史	156
---	---------	-----

三	詩書画と唐物——美術史から見た五山	169
1	鎌倉・南北朝時代	170
2	室町時代	185
四	禅院の風景——建築・庭園研究の視点から	203
1	黎明期の五山叢林とその建築・行事	204
2	清規から見る禅宗の儀礼・生活・建築	213
3	禅院の風景とその影響力	221
五	栄西から利休へ——茶文化研究から見た五山文化	228
1	中国の茶文化の変遷と日本への影響	230
2	鎌倉時代の茶文化	234
3	室町時代の茶文化	244
4	戦国時代の茶文化	249
六	五山のゆくえ——思想史研究の視点から	252
1	日本儒学史・日本思想史の語りと「五山」の思想	254
2	五山儒学 of 思想史的意義	261
3	五経主義から四書中心へ、『中庸』の発見	265
4	訓読法の定立と新思潮	269
5	琉球における五山、訓読文化	274

参考文献

279

図版リスト・出典

285

あとがき

289

執筆者一覧